

日本財団「海と日本 PROJECT」  
～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう!!～  
ツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社  
水素船「ハイドロびんご」船内見学&「サイクルシップ・ラズリ」ミニクルーズ  
実施報告

(一社)日本中小型造船工業会

- ◎実施日：2021年8月10日(火) 9:30～12:00
- ◎会場：ベラビスタマリーナ岸壁
- ◎参加者：尾道市立浦崎小学校児童及び家族、従業員家族、関係者
- ◎参加人数：97名
- ◎イベント内容：就航式見学、水素船内見学及びミニ講座、観光船クルーズ
- ◎見学船舶主要目：
  - 船種／水素燃料フェリー
  - 総トン数／19t 全長／19.4m 全幅／5.4m 深さ／1.75m 定員／82名

受付時の手指消毒及び検温、マスク着用等、新型コロナウイルス感染防止に十分留意しながら開催しました。「ハイドロびんご」は、小型旅客フェリーでは世界初となる水素燃料船で水素と軽油の混焼エンジンを2機搭載しており、水素燃料はタンクごと入れ替えて設置するため専用の充填設備が不要です。山口県周南市(徳山下松港)にて実証試験運航される予定となっています。

イベント参加者は、本船の就航記念式典を見学した後、サイクリスト(サイクリングを趣味として楽しむ人達)に利用しやすい設備を備えた観光船「サイクルシップ・ラズリ」のミニクルーズや水素船内の見学を楽しんだり、新しいエネルギー「水素」についてのミニ講座にも耳を傾けていました。式典には、本船の共同開発国であるベルギーより大使も出席し、浦崎小学校代表児童から贈呈された花束を笑顔で受け取るなど、本イベントの開催を非常に喜んでおられました。

未来を担う子ども達に、船や海のことだけでなく、化石燃料に代わる新しいエネルギーや環境問題についても知ってもらおう大変有意義な機会となりました。





※集合写真撮影時のみマスクを外しています

